

芸の伝承

第8回ビデオ上映会



開催日時: 令和6年7月20日(土) 午後2時半~4時半

会場: 神田エッサムホールI号館301号室

上映演目:

① 常磐津『対奴』

平成7年2月17日(国立劇場大劇場、第38回日本舞踊協会公演)

立方: 坂東 佳津(殿様)、坂東 寛二郎(奴)、坂東 三信之輔(奴)

② 長唄『楠公』

平成12年8月27日(電力ホール、みつる会舞踊公演会)

立方: 坂東 佳津

③ 清元『鞍馬獅子』

開催日、会場、公演名不明

立方: 坂東 佳津(喜三太)、坂東 三之春(卿の君)

ご感想

第8回ビデオ上映会の際に参加者の皆様より頂戴しました貴重なお声をご紹介します（順不同、一部抜粋あり）。

佳津先生のお名前は存じておりましたが、踊りを拝見したことは1度しかなかったため、今回貴重な映像を見せていただくことができて感動いたしました。坂東の歴史を感じると共に、佳津先生の芸に対する真剣な姿勢に、自身も背筋が伸びる思いがいたしました。すばらしさに引きつけられました。踊りで物語りを語っているかのごとく、自然に動く所作に引きつけられました。

「対奴」は初めて拝見させていただきました。坂東流の大切な演目をありがとうございました。「楠公」は人物が、実際にたくさんいるような感じがする位、表現されていらっやあって、すばらしいなあと思いました。「鞍馬獅子」も相手役の三之春先生との息がピッタリで役柄になられて、どこをみてもすごいと思いました。

大変貴重な作品を上映いただきありがとうございました。「楠公」は引き込まれて拝見しているだけで涙が出るほどでした。

「楠公」、すばしかったです。前半の手の少ない所、感情がにじみ出て芝居をみているようでした。後半合戦の動き、体の使い方とても勉強になりました。「対奴」、初めて拝見しました。「鞍馬獅子」、若かりし頃の佳津先生かっこいいです。三之春先生は美しかったです。楽しい時間を過ごさせていただきました。

見応えのある三役、素晴らしい出し物ばかりのビデオでした。

物語りがひしひしと伝わって、迫力があり魅了されました。馬、弓など場面も感情も伝わり、感動いたしました。とても勉強になりました。ありがとうございました。細かいところまで役になりきっていらっやって、素敵でした。貴重なお話もたくさん伺えました。誠にありがとうございました。

凛々しく踊られている様を観て憧れます。以前の踊りをこのような形で拝見できてありがたいと思います。と共に益々精進せねばという思いにかられます。スクリーンにも歌詞を入れて下さり、より見やすく助かりました。貴重な機会に感謝申し上げます。

「対奴」は初めて拝見し、坂東流代表曲としてとても手頃ではないかと思いました。「楠公」は改めて体力と集中力がある舞踊で、とても素晴らしい振付なので今後も伝承してほしいと思いました。「鞍馬獅子」は動きが早く、振りもきっかけも多い中、あれだけきちんと役をこなし、且つ品を失わずさすがと思いました。

全て懐かしく拝見いたしました。私的には佳津さんの踊り方に憧れておりましたので、嬉しかったです。



佳津さんの重々しい役、素踊り、軽業役とあらゆる姿を拝見できてとても勉強になりました。佳津さんの体の使い方や間の使い方、3つの演目どれも格好良かったです。女性でも男性に負けないほどの役作りに佳津さんの芸能に対する熱を学ばせていただきました。

大変貴重な映像を観ることができの良い機会です。ありがとうございます。今後も続けていただきたく、お願いします。佳津先生の踊りが素晴らしかったです。実際に拝見したかったです。役を徹底して研究されていると感じました。

もともと佳津先生の踊りは大好きでしたが、改めて素晴らしい芸を見せていただきました。本当にありがとうございます。

初めてお会いしたのは、九代目お家元が「水売り」の講習会で佳津先生と勝友先生がお手伝いにいらしていました。その時の佳津先生は短めのボブヘアでとても若々しい印象でした。講習会の参加者の中には佳津先生「かつこうこさん」と呼んでいらっしゃる方もいました。「水売り」のご指導以来、重厚な立役が素晴らしい先生とずっと思っています。



久々に佳津さんの舞姿を拝見し、なつかしく、色々思い出す事も有り、嬉しく思いました。まだまだ隠れたビデオがあると思いますので上映会を催して下さい。「楠公」は特に良かった。思いがけず三之春師にもお会い出来、嬉しかった。「鞍馬獅子」もこんなに面白い踊りだとはじめてわかった。

昨日はありがとうございました。佳津さんの舞姿を拝見し、家に帰りいろいろ思い出しました。東京新聞女流の会で荻江の「水仙丹前」を一緒に踊った事、きりっとした男前でした。その後康代(現勝友)佳津 三之春 のお三方を中心に「さんごの会」を作り九代目のお家元にお稽古をつけて頂き、とても有意義な数年間を過ごしました。佳津さんの舞台沢山ありますが国立劇場での「静と知盛」素踊りでとても素晴らしかったです。思いつくまま書いてみました。(喜能)

私も昭和 28 年に師匠の坂東春之丞先生が三津之丞先生の会に出演するのに「高尾ざんげ」の禿として6名の子供達の中に入れて頂きました。その中には三津之丞先生の娘さんも出演なさり、旧新橋演舞場で開催されました。三津之丞先生のお宅で下浚いして頂いた事が夢のようです。7代目から8、9、10、11 代目と永いおつきさせて頂き、人生の支えとなりました。8代目の頃は父親の介護(私は 20 歳代)で追いまくられ、日舞とは疎遠となり、全く別世界のようでした。30代になって再会した時に師匠は 70 代後半…。師匠と 40 歳近く離れていたのに、難しい年代になってしまいました。それからは師匠の友人でもある三津緒師匠にお近づきになり、それから二人の師匠にお世話になり、今ではお二人とも天国に行ってしまったのですが、昔のお師匠さんは教え方が丁寧できびしい、そしてやさしい、一つ一つの振りが的確にしこまれた事が今ではありがたく宝になったと思います。(玉之丞)